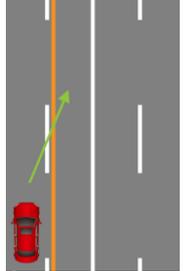


こうか そくてい もんだい
効果測定問題 5

1. 横断歩道のない交差点や、その近くを歩行者が横断しているときには、その進行を妨げてはならない。
2. 故障車をロープ、クレーンなどでけん引する時は、けん引免許が必要になる。
3. 見通しのよい踏切では、その直前で一時停止をせずに進行することができる。
4. 仮免許で運転の練習を行う場合は、その車種の運転免許を3年以上受けている人を横に乗せ、指導を受けながら運転しなければならない。

図1



5. 図1の赤い車のような進路変更は禁止されている。
6. けん引自動車の、法定最高速度は50キロである。
7. 道路の交通状況や天候により、その場にに応じた安全な速度で走行する必要がある。
8. 運転中に携帯電話に着信があったときは、すみやかに会話を終わらせ運転に集中しなければならない。
9. 図2の標識は、この先の幅員減少を示す標識である。

図2



10. 普通免許では、車両総重量が3.5トン未満の車を運転することができる。
11. 路面がすべりやすい状態のときは、ブレーキは数回に分けず一気に踏み込んだほうがよい。
12. エアバックの付いた車は、シートベルトの着用が義務付けられていない。
13. 正面の信号が黄色の点滅である場合、注意して進むことができる。
14. 転回の合図の時期は、右折と同じである。
15. 有効期間の過ぎた免許証での運転は、無免許運転になる。

図3



16. 運転免許の更新は、有効期間が満了する日の2ヶ月前から可能である。
17. 図3の標識は、車が駐車できることを表している。
18. オートマチック車で長い下り坂を下るときは、フットブレーキのみを使用すればよい。
19. 四輪車の座席の調節は、ブレーキペダル、クラッチペダルを踏み込んだときに、ひざが伸びきった状態に合わせる。
20. 対向車線から緊急自動車近づいてきたので、道路の左端によって道を譲った。

21. 車が左折をするときには内輪差が生じるが、右折をするときには生じない。
22. 踏切とその手前30m以内の場所では、追い越しが禁止されている。
23. 車両総重量とは、車の重量、最大積載量、乗車定員の重量を合計した重量のことである。
24. 図4の標識は、指定方向外進行禁止の標識で、右折や左折はできるが直進はできないことを表している。

図4



25. 図5の標示がある場所で、転回をした。
26. 交通違反や事故を起こした運転手は、刑事上の責任、行政上の責任、民事上の責任を負うことになる。

図5



27. 図6の補助標識は、本標識が示す交通規制の区間や区域の始まりを示している。

図6

28. 歩行者がいる安全地帯のそばを通るときは、徐行しなくてもよい。



29. 白か黄色の杖を持った人が歩いている場合、車は一時停止か徐行をして、これらの人が安全に通行できるようにしなければならない。

30. 自動車を運転するときは、ゆとりある正しい姿勢で行うのがよい。

31. ヒールが高くても、履きなれた靴であれば運転の妨げになることはない。

32. オートマチック車は、チェンジレバーが「P」か「N」以外に入っている場合には、アクセルペダルを踏まなくても、車がゆっくりと動き出す。この現象を「クリープ現象」という。

33. 警笛区間内で警音器を鳴らさなければならないのは、見通しのきかない交差点、見通しのきかない道路の曲がり角、見通しのきかない上り坂の頂上である。

34. 前を走る初心者マークをつけている自動車の速度が遅いので、車間距離をつめて速度を出すように促した。

35. 道路の曲がり角付近では、見通しが悪い場合は徐行しなければならないが、見通しがよい場合は、徐行はしなくてもよい。

36. 自転車横断帯に近づいた際、横断する自転車がいないことが明らかな場合、速度を落とす必要はない。

37. 自動車のドアを閉めるときは、少し手前で一度止めるようにする。

38. 一般道路において、標識で最高速度が指定されていないときの法定速度は時速80キロメートル以下である。

39. 二輪車を選ぶときは、8の字型に押して歩く事ができるものにする。

図7

40. 車道とはべつに歩道が設けられている場合は、歩行者との間に安全な間隔をあける必要はない。



41. 図7の標識は、この先に十字型の交差点があることを表している。

42. 交差点がなく、横断歩道や踏切等もない場所で、警察官が停止の指示をしている時の停止位置は、警察官の2m手前が停止位置になる。

43. たとえお酒を飲んだのが前の日であっても、体内にアルコールが残っている可能性がある場合は、運転はしてはいいない。

44. 雨にぬれた道路を走る場合や、重い荷物を積んで走っているときは、空走距離が長くなる。

45. 赤信号の間であれば、携帯電話を使用してもよい。

46. 追い越しが終わった後、進路を戻す時期はなるべく早いほうがよい。

図8

47. 図8の標識がある場所を、普通自動車で通行した。



48. 道幅が同じような道路の交差点で、路面電車や左側から来る車があるときは、その進行を妨げてはならない。

49. 踏切を通過する際に、その直前もしくは停止線で一時停止をし、窓を開けるなどをして自分の目と耳で左右の安全を確かめなければならない。

50. 幼児を自動車に同乗させる際は、その幼児の発育の程度に適した大きさ・形状のチャイルドシートを使用しなければ

ならない。